

## プレスリリース

2022年10月20日 ローザスバーク、スウェーデン

Steelwristは、2022年10月24～30日にミュンヘンで開催される bauma 展示会に出展します。

Steelwrist はbauma訪問者に製品ニュースと共に、チルトローテータと SQ 全自動クイック カプラ システムが掘削機の効率をどのように向上させるかのデモンストレーションを見る機会を提供いたします。スチールリストSQは、油圧ショベルのクイックカプラやチルトローテータに使用される、高性能な全自動油接続技術で、油圧ワークツールの接続に使用されています。

中型油圧ショベル用の SQ50 クイック カプラとチルトローテータは、Steelwrist の SQ 製品シリーズに新たに追加されました。bauma では、Steelwrist は 2.5トン未満の油圧ショベル向けのチルトローテータの新モデルである X02 も発表します。

スチールリスト スタンド番号: FN 917/6

## スチールリストは、中型油圧ショベル向け全自動大流量・Open-S対応ソリューション「SQ50」向けクイックカプラとチルトローテータのラインアップの拡充を発表

新シリーズのSQ50クイックカプラとチルトローテータは、7～13トンの油圧ショベルをターゲットとしています。スチールリストSQは、油圧ショベルのクイックカプラやチルトローテータに使用される、高性能な全自動油接続技術で、油圧ワークツールの接続に使用されています。SQ50は、優れた流動特性、競争力のある構造物の高さ重量が大きな特長です。

SQ50は、全自動クイックカプラの規格であるOpen-Sの規格に準拠しています。

S50とSQ50クイックカプラは鋳鋼製で、スチールリストフロントピンロックの安全対策が施されています。フロントピンロックは、フロントシャフトを機械的にロックすることで、ワークツールが意図せず落下するリスクを大幅に軽減します。

X12とX14のチルトローテータは、最初の注文時にSQが含まれていない場合でも、後からS50からSQ50へのアップグレードを可能にするため、トップとアタッチメントカプラが新しく設計されています。チルトローテータの上側(アッパーカプラ)にSQを設けることでチルトローテータと他のワークツールを素早く交換でき、

チルトローテータの下側(アタッチメントカプラ)にSQを設けることで油圧ワークツールを素早く交換できるようになります。SQを使用することで、チルトローテータに回転機能が含まれるため、チルトローテータ用のワークツールを安価に抑えることができます。

「SQ50全自動クイックカプラとチルトローテータの導入により、低背圧で毎分120リットルの流量で、成長する10トン油圧ショベルのセグメントで勝負を変えるでしょう。これにより、中型油圧ショベルでも大流量のワークツールを効率的に使用することができます」とSteelwrist ABのCEO、Stefan Stockhausは述べています。

#### ハイフローハイドロリックとアブソリュート回転センサー

SQ50では、Qplusの技術を更新し、さらに20%増量の大流量に対応することで、大流量を必要とするワークツールも中型油圧ショベルで稼働させることができるようになりました。

SQ50の導入に伴い、2022年には、マシンコントロールシステムの精度を高めるために、新しいアブソリュート回転数センサーも導入する予定です。本格参入は、2023年第1四半期に予定されています。スチールリストオートチルトとの組み合わせで、より高い生産性を実現します。

#### 解体業界の要望に応えるSQ製品

スチールリストのSQ全自動クイックカプラには、最大70トンのゆ用のモデルが含まれています。解体業界向けのSQ製品の最新製品であるSQ90クイックカプラも、Steelwristスタンドで展示されます。

#### Open-Sに準拠したソリューション

すべてのスチールリストSQ製品は、掘削機用全自動カプラの世界的な業界標準であるオープンSに準拠しています。つまり、SQシステムは、Open-S規格に準拠した他ブランドとの接続が可能な設計になっているのです。

## スチールリストは、油圧ショベル最大2.5トン用のX02チルトローテータをラインナップに追加。

小型ショベルへのチルトローテータの搭載比率が世界的に高まり始めており、これに対応するため、スチールリスト社は1.5~2.5トン油圧ショベルに適したチルトローテータ「X02」を新たに追加しました。X02は、効率と汎用性を高めるワークツールが付属しており、最小の油圧ショベルも真のツールキャリアに変身させることができます。

#### 革新的なデザインと容易なメンテナンス

X02チルトローテータは、多くの革新的なデザインソリューションを備えており、油圧ショベルとの接続には直付けまたはS30トップにより行います。チルトローテータのカプラ側(下側)は、S30用の油圧ロック式に加え、機械式ロック式があります。フロントピンフックを内蔵した油圧ロックバージョンは、おそらくこのクラスのチルトローテータの中で唯一、CE要件に適合したワークツールの安全性を備えています。

X02は、2トン以下の車両向けの最小のチルトカプラTCXと、2.5~4トンの車両向けのチルトローテータX04の間に位置するものである。X02でも、最高の強度重量比と低い構造物高さを兼ね備えた鋳造製品を作ることに焦点を当てました。

その他、X02で導入された革新的なデザインソリューションは以下の通りです。

- 経年変化による遊びをなくすことができる新型ギアボックスの採用
- 無給脂軸受の採用により、メンテナンスが容易。
- 外的要因から保護するためのバルブとコントロールモジュールの配置
- チルトローテータに直接取り付け可能な、ボルトオンリフティングアイまたはリフティングフックをオプションで装着可能。

#### 最適化されたワークツールレンジ

X02チルトローテータ用のスチールリスト S30ワークツル一式(グレーディング、掘削、ケーブル/トレンチング、V溝バケット、アスファルトカッター、リッパーなど)により、油圧ショベルは幅広い用途で作業ができ、効率的で汎用性の高いツールキャリアに変身します。

2022年秋、X02のワークツールにマルチグラッフルが追加されます。これにより、ゆは、幅広い用途で作業できる効率的で用途の広いツール キャリアに変わります。

X02の発売により、2.5トン以下の油圧ショベル向けのチルトローテータシリーズがようやく完成しました。X02は、お客様が待ち望んでいた革新性と堅牢性の素晴らしい組み合わせです」とSteelwrist ABのCEO、Stefan Stockhausは述べています。

## VDMA MiC 4.0 との互換性 - オープン チルトローテータ制御システム インターフェイス

Steelwrist は、ドイツの業界団体 VDMA (Verband Deutscher Maschinen- und Anlagenbau e.V.) のメンバーです。VDMA ワーキング グループ MiC 4.0 の目標は、建設プロセスにおいて、製造業者や機械に依存しない、統一されたデジタル通信を作成することです。アタッチメントの場合、これにはオープンなチルトローテータ制御システム インターフェイスが含まれます。

キャリアとのアタッチメントの通信は、安全面で非常に重要です。目的は、アタッチメントを正確に識別するために、アタッチメントとキャリアの間で適切な通信を実現することです。

これにより、安全に使用するために必要な設定が送信され、起こりうる危険が防止され、キャリアから独立したアタッチメントの操作性が簡素化されます。Steelwrist は VDMA ブース No.B0.MICで Steelwrist X12 チルトローテータを代表とし展示します。

詳細については下記にお問い合わせください。

Stefan Stockhaus  
CEO  
Steelwrist AB  
stefan.stockhaus@steelwrist.com  
+46 709981321

#### スチールリスト社について

スチールリスト社は今日、世界で最も急速に成長しているチルトローテータとクイックカプラのメーカーです。堅牢で斬新な製品への強いこだわりと迅速なサービスで、多くのお客様から高い評価を得ています。スチールリスト社の詳細については、steelwrist.comをご覧ください。